

## ～女性が輝く農村を目指して～ 大程 幸子さん（内子町）

愛媛県農業指導士会会長 1955年生まれ  
内子町知的農村塾運営委員長、アグリベンチャー21 副会長  
ホームページ [なかよし農園](#)



### ☆経営概況☆

認定農業者の共同申請者である夫、後継者夫婦と共に、ぶどう（ピオーネ他）70a、柿 200a、ブルーベリー8a、水稻 20a の生産に取り組み、四季の移り変わりを肌で感じながら、家族で楽しい農業を実践しています。

またその傍ら、内子町知的農村塾の運営や「うちこフレッシュパークからり」併設加工場での特産品開発、さらには地元の程内地区でのグリーン・ツーリズム活動にも積極的に取り組んでいます。

### ☆ここがポイント☆

#### ■品目、出荷先に応じた高品質・省力化生産

ぶどうは、長期出荷が可能となるようピオーネを主体として複数の品種を栽培するとともに、雨よけハウスを導入し農薬散布回数を削減すること等により町の特別栽培農産物の認証を受け、消費者の皆さんの声を励みに「からり」への出荷や直売発送を行っています。また、昨年から「築地ボン・マルシェ」にも納品を始めました。

柿は、平棚栽培の導入のほか、園内道を設置しスピードスプレーや防除を行うことで省力化を図っています。特に、袋かけを行う主力品種の富有柿は、愛あるブランド「媛のふゆ」として、JA を通じて県内外へ出荷しています。

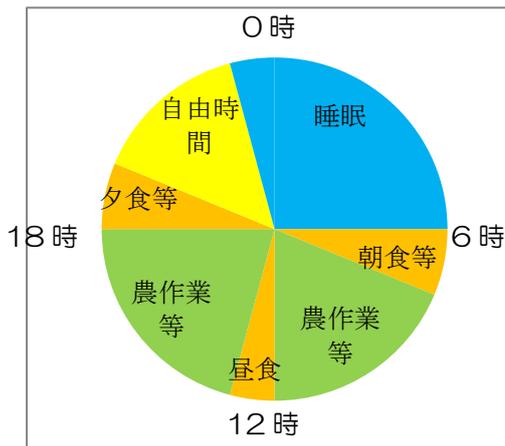
#### ■家族経営協定で役割分担を明確化

収穫を含め農作業全般は夫と後継者、パック詰めやグリーン・ツーリズム体験の受け入れは自分と後継者の妻、経営管理は自分たち夫婦、出荷・直売所情報収集等は後継者夫婦と担当を明確にすることで、後継者夫婦も責任とやりがいを持って農業に取り組んでいます。

また、夫も自分も様々な役職を引き受けており、農繁期に会議等が出かけなければならぬこともありますが、農業は後継者夫婦に任せることで、安心して活動できるようになりました。



【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

県や町の役職もあり、農業以外で家を留守にすることも多いですが、家族経営協定で休日を取得することとしているので、休日には孫と遊んだり、友人とお茶を飲んだり、趣味の水彩画を描いたり、リフレッシュする時間を設けています。  
 それによって、また違った視点から地域を見ることが出来たり、チャレンジしてみたい事柄が見つかることもあります。



【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 何かしら農作業はありますが、週に1日は休日を設けるようにしています。 →					
【通常期】	← 農業、地域活動等 →					← 休日 →



グリーン・ツーリズム  
コンチャク作り



フレッシュパークからり



アグリベンチャー21

☆これからの夢や目指すもの☆

■農業を楽しく！地域を元気に！

「知的農村塾」や女性農業委員の活動を通じて、過疎化する山間地域で、皆が元気に生き生きと暮らすにはどうすればよいかを考えてきました。現在も「アグリベンチャー21」や生活研究グループ「程内コンチャク芋グループ」の活動、またグリーン・ツーリズム受入れ等で新たなチャレンジをしています。今後も常に目標を持ち、農業の持つ可能性、21世紀に光る知的農村を求めて、次世代に繋げる楽しい農業に夢をふくらませています。

☆メッセージ☆

■農村は女性が輝ける場所です！

今は女性の発想が求められている時代ですが、女性が活躍するためには、まず自分が我が家の農業を担っているという主体的意識を持つこと、次に知識・技術・発言力をつけること、さらに地域を見る視点を持つことが求められます。

これらのことを私に気づかせてくれたのは、「知的農村塾」であり、たくさんの方々との出会いと交流でした。今後、輝く農業・農村を目指して行動する女性が、どんどん増え、さらに多くの出会いと交流につながることを期待しています。